

2018年度 聖園女学院 帰国生入試説明会資料 英語

① 問題構成

筆記試験大問3題、スピーキング(&リスニング)試験を実施予定。

筆記試験の解答時間は40分。スピーキング試験は約10分(準備、移動時間5分)。

問題構成は次のように予定している。

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | Reading (長文読解問題) | (約30点) |
| 2 | Vocabulary & Grammar (空所補充問題) | (約10点) |
| 3 | Writing (英作文問題) | (約20点) |
| 4 | Speaking & Listening (スピーキング・(リスニング)問題) | (約40点) |

② 出題傾向と対策

昨年度からの変更点は、スピーキング試験の中にリスニングの要素を導入し、大問4の配点を高くした点である。

また、ライティング試験では、書く文字数を増やしている。

筆記試験終了後、スピーキング&リスニング試験を実施する予定。これらのテストを通して、総合的に読む、聞く、書く、話す「4技能」の力を問う試験となっている。

1 長文読解問題。選択問題や記述を含み、文意を正確に読み取ることができる力を問う。

対策 まとまりのある英文を読んで、基本的な語彙、文法などの理解に基づき、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえることができる力を問う。パラグラフごとに要約ができることを意識し、精読しながら速読する力を訓練しておこう。

2 空所補充問題。高校初級～中級レベルの文法、語法、会話、語彙、イディオム力などを問う。

対策 与えられた文にふさわしい語句を4つの中から選択する形式。正しい文法・語法・語彙等を理解し、使用できる力を問う。英語検定試験2級のような選択問題を通じて、他の選択肢が違う理由が説明できるくらい理解力を高めておこう。

3 ライティング問題。状況に応じて適切な英語を正確に書ける力を問う。

対策 日常生活で用いる英語表現を土台に自分の考えを表現できる力を問う。与えられた問いに対し、それに対する理由を正しい英語で「書く力」、「発信できる力」を問う。日頃から日記、手紙などを通し、自分の考えを書く習慣を身につけておくと良い。日常生活を送

る上で感じる様々な出来事に対して、日頃から自分の考えを 60~80 words で表現する練習が効果的である。

[サンプル問題]

Question : What should we do about global warming?

Answer : It is important to take steps to help decrease global warming. I have several ideas. First, education is essential. Schools should teach the causes and give practical suggestions. Second, local governments should encourage people to be environmentally friendly in their daily lives. Finally, national governments must work together to come up with ideas, and then make sure that countries keep their promises. It is only by acting on all these levels that we can hope to slow climate change.

(79 words)

[採点基準]

①Content (Structure & Ideas) ②Vocabulary ③Grammar ④Length など
上の4つの観点を目安に採点する予定。

4 スピーキング(&リスニング)問題。

瞬発力をもって、状況に応じた英語で正確に発信できる力を問う。

対策 次の4つのセクションで出題する予定。

- ① Questions and Answers
- ② Picture Description
- ③ Story Telling Sequencing
- ④ Agree or Disagree Question

①では、自己紹介を含む、身近なテーマに関して、簡潔に述べる力を問う。

②では、与えられた絵に関して、適切な語を用いて、状況を分かりやすく説明できる力を問う。

③では、複数の絵を並べ替え、ストーリーテリングできる力を問う。

④では、与えられたテーマに対し、自らの考えを簡潔に述べる力を問う。

英語検定(2級程度)などのスピーキング試験を用いて、練習しておくのも効果的である。